

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

2023年12月11日

2. 認定事業適応事業者の名称

大倉工業株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

2023年12月～2024年12月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

当社グループは2019年に、10年後のありたい姿として「要素技術を通じて、新たな価値を創造し、お客様から選ばれるソリューションパートナー」を目指して、経営ビジョン「Next 10」を定め、長期的な企業価値向上に向けて経営しています。その中で、新型コロナウイルス感染症の影響、世界的な脱炭素社会への加速などによる外部環境の激変への対応に対し、環境・エネルギー負荷を軽減する事業を注力領域とした「サステナブル材料、減量化、リサイクル、省エネの取組」を実践し、脱炭素社会・環境価値の創出に貢献していきます。

2023年のCO2排出量は、2013年比32%減、2021年比14%減となり、既に2024年の目標値を達成しております。

また、環境貢献製品を「Caerula（カエルラ）」とし、生活サポート群における「Caerula」認定製品の売上比率を、2024年に50%以上にする目標で進めております。2023年は環境貢献製品の売上高が約289億円で、2022年比で約70億円増加し、生活サポート群における「Caerula」認定製品の売上比率は48%まで伸びました。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

2023年度より事業適応を開始し、2024年度(目標年度)までに仲南工場の炭素生産性を0.63%向上させること、丸亀第五工場の炭素生産性を10.98%向上させることを目標としております。

しかしながら、仲南工場にて2023年12月にG棟南側に新工場を新設し、稼働を開始する予定であった偏光板保護用アクリルフィルム製造設備について、導入設備の一部に不具合が発生したこと等から稼働開始が2024年になりました。引き続き、2024年度の仲南工

場の炭素生産性を 10.63%向上させる目標の達成に向けて取り組んで参ります。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

2024 年度(計画終了年度)に、経常利益を計上することを目標としており、仲南工場の偏光板保護用アクリルフィルム製造設備の稼働開始が予定より遅れましたが、目標の達成に向けて取り組んで参ります。